



2013年10月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2013年9月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
百貨店事業	▲ 0.6 (2.0)注2
パルコ事業	0.0
卸売事業	▲ 1.5
クレジット事業	6.9
その他事業	12.1
連結合計	▲ 8.4
(除くスーパーマーケット事業)	0.3注1

注1: 2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。前年の連結合計からスーパーマーケット事業を除いた対前年増減率は0.3%増となります。

注2: 百貨店事業の()内は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- 9月度の百貨店事業の売上高は、中旬の3連休で特に中部・関西地区を中心に台風によるマイナス影響を受けたものの、婦人ジャケット、ニットやパンプスなど秋物ファッションに動きが見られたほか、ラグジュアリーブランドや時計宝飾品も好調に推移したことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年2.1%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同2.0%増となった。

2) パルコ事業

- 中旬の3連休の台風によるマイナス影響のほか、前年のCD・映画など大型ヒットによる反動があったものの、各地区で開催した地元プロ野球球団の優勝・応援セールの実施や、集客イベントによる効果により、パルコ事業全体では対前年0.0%となった。

3) その他

- 卸売事業の大丸興業は、包装資材や農水産品が売上を伸ばしたものの、電子デバイスが苦戦し対前年▲1.5%減となった。
- クレジット事業のJFRカードは、リボ払いを利用されるお客様の増加や加盟店手数料収入の増加などが寄与し、対前年6.9%増となった。
- その他事業は、J.フロント建装やJFRオンラインなどが売上を伸ばし、対前年12.1%増となった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2013年9月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	9月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	4.2	▲2.5
大丸 梅田店	▲6.7	▲7.6
大丸 東京店	5.6	▲4.1
大丸 浦和パルコ店	2.7	3.4
大丸 京都店	0.9	▲2.7
大丸 山科店	▲2.4	▲2.6
大丸 神戸店	2.1	▲5.7
大丸 須磨店	2.4	▲0.4
大丸 芦屋店	7.7	1.5
大丸 札幌店	7.1	1.4
松坂屋 名古屋店	5.3	7.2
松坂屋 上野店	▲3.2	▲1.2
松坂屋 静岡店	▲1.9	▲4.7
松坂屋 高槻店	▲0.1	2.2
松坂屋 豊田店	▲6.4	▲0.1
大丸松坂屋百貨店合計	2.1	▲2.3
博多大丸	0.9	▲1.7
下関大丸	1.7	1.3
高知大丸	1.6	▲2.4
百貨店事業合計	2.0	▲2.2

(注)・合計は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。
・前年に上記3店舗を含めた9月度の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 ▲0.9%減、百貨店事業合計 ▲0.6%減。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	9月度
紳士服・洋品	2.2
婦人服・洋品	3.0
子供服・洋品	8.7
その他の衣料品	16.0
衣料品計	3.7
身回品	1.9
化粧品	▲1.5
美術・宝飾・貴金属	7.4
その他雑貨	13.7
雑貨計	3.7
家具	11.4
家電	▲11.4
その他の家庭用品	3.9
家庭用品計	4.7
生鮮	0.5
菓子	2.0
惣菜	1.4
その他食料品	2.5
食料品計	1.6
食堂・喫茶	▲3.5
サービス	28.8
その他	▲15.2
合計	2.1

(注)・大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

3. 売上高概況

- ・婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが好調に推移したほか、ジャケット、ニットなど秋物衣料にも動きが見られた。紳士服・洋品は、スーツ、ジャケット、パンツなど主力アイテムが良く動いた。身回品は、パンプス、ブーツが好調だった婦人靴が牽引した。雑貨は、時計が大きく売上を伸ばした。食料品は、本年6月に改装グランドオープンした名古屋店が牽引した。